

平成 2 0 年度三番瀬自然環境調査事業の概要について

平成 2 0 年 1 0 月 2 4 日
環境生活部自然保護課

1 目的

三番瀬海域の地形の現状を把握し、過去に実施された深浅測量のデータから、地形の侵食、堆積傾向を整理し、地形の変化について調査し、三番瀬の自然環境の変化を把握することを目的とする。

2 調査期間

平成 2 1 年 1 月 ~ 2 月 (前回調査と同時期)

3 業務の内容

(1) 作業計画

業務の目的・主旨を把握したうえで、既存資料の内容を確認し作業計画を作成する。

(2) 現地踏査

周辺の状況及び土地利用状況等を把握し、既存資料を基に現地踏査を行うものとする。

(3) 測量

精密音響探査機により、測線間隔 5 0 m で深浅測量を行う。また、浅い海域については、汀線測量により行う。なお、R T K - G P S 等を使用することにより、5 cm 以内の精度で行うものとする。

(4) 定点観測

干出域から水深 1 m 程度の 5 箇所において、定点観測を行う。各地点において、2 0 m 四方の範囲を、4 m ごとに格子状に R T K - G P S により標高の精密測定を行う。

定点観測点の詳細決定については、三番瀬評価委員会の助言をもとに、協議して決定する。

必要に応じて、このデータを基準に、移動観測船による測量値を補正する。

(5) 深浅図の作成、整理、確認等

測線間隔 5 0 m の深浅測量と定点観測を基に深浅図を作成する。また、過去に実施された深浅測量のデータとの比較により、地形の侵食、堆積傾向を整理し、地形の変化を取りまとめる。

(6) 報告

調査結果の概要等について、三番瀬評価委員会に報告を行う。

